

高齢者等除雪支援事業に関するアンケート結果 【対象世帯版】

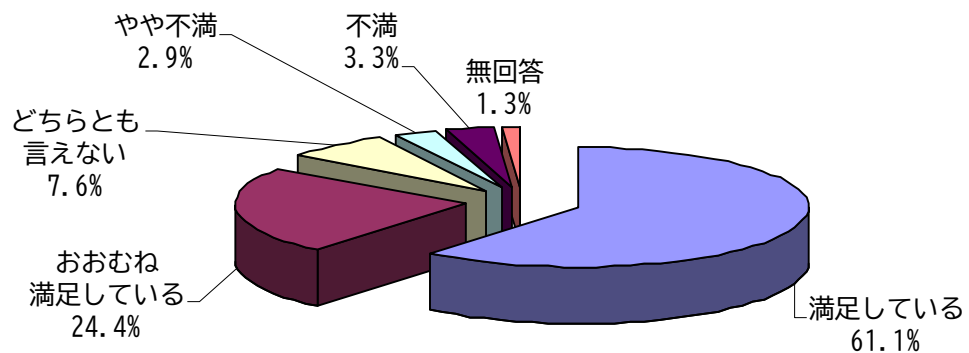
アンケート形式及び標本数等

アンケート送付日：

調査方法：アンケート用紙郵送→記入→返信用封筒での回答

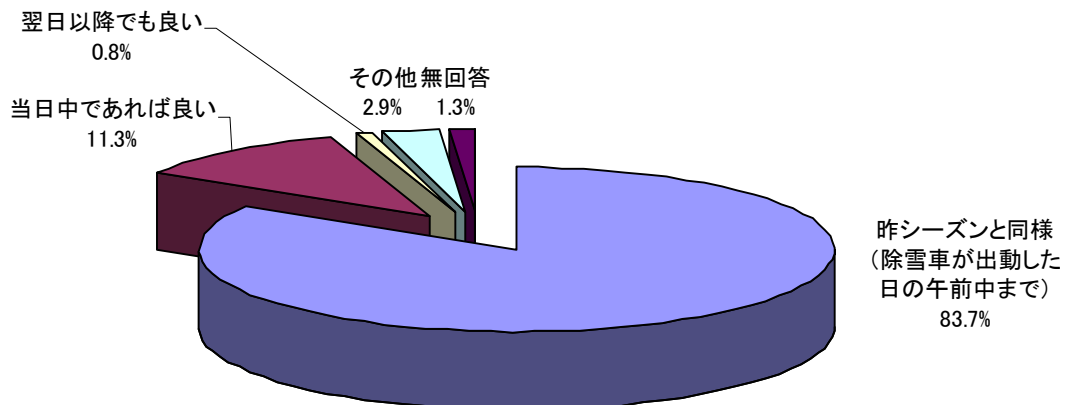
回答率：63.1%(回答数：239 件／送付数：379 世帯)

問1 取組についての感想



「満足している」が61.1%、「おおむね満足している」が24.4%で合計85.5%の対象世帯が事業に好感を持っている。「やや不満」と「不満」を合わせても6.2%に過ぎず、事業には高い評価が得られていることがわかる。

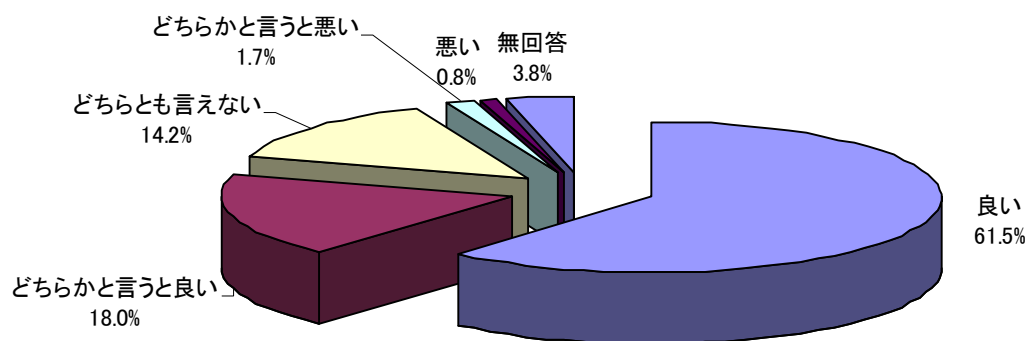
問2 完了時間



完了時間については、これまでの除雪車が出動した日の「午前中まで」と考える対象世帯が83.7%を数える。「当日中」でも11.3%、「翌日以降」に至っては0.8%に過ぎない。同質問の自由記載欄に「7時半まで」や「8時まで」との回答もあり、完了時間についてはシビアであることがわかる。他の質問への回答にも、「ゴミ捨てをするまでには」や「(デイサービス)迎えまでに」というものもあり、担当課にもそうし

た電話での問合せなど多いことから、自らの生活に支障をきたさない早朝を求める声大きいことは、福祉除雪との統合など、今後の除雪支援のあり方を考える上で考慮すべき事項であると言える。

問3 町内会の作業に対する評価



これまでの道路除雪事業者による作業と比較して、昨年度行った町内会等の作業についての評価を聞いた。「良い」が61.5%、「どちらかと言うと良い」が18.0%で、合計79.5%が町内会による作業を評価していることがわかった。悪いと答えたのは239件中2件のみであり、問1と同様に、事業に対しては満足していると思われる。

問4 町内会等による作業の良否

道路除雪事業者に比して、町内会による作業がどのような点で良かった(もしくは悪かった)かについて、自由記載の質問を行った。

ここでも町内会等による作業の評判は良く、何らかの回答を記載した181名のうち、141名が好意的な回答を寄せており、割合は77.9%を占める。これらの好意的な回答中には以下のようなものがあった。

- ・町内の方なので安心です
- ・町内の知人なので安心できるし、会話したり交流も出来る
- ・冬の一人暮らしで気分もやわらぐ
- ・声かけがあり安心
- ・コミュニケーションが深まった

これらの回答は、この事業が雪という生活上の課題を克服するだけでなく、生活圏でのつながりを生み、孤立を防ぐ効果も期待できることがわかる。

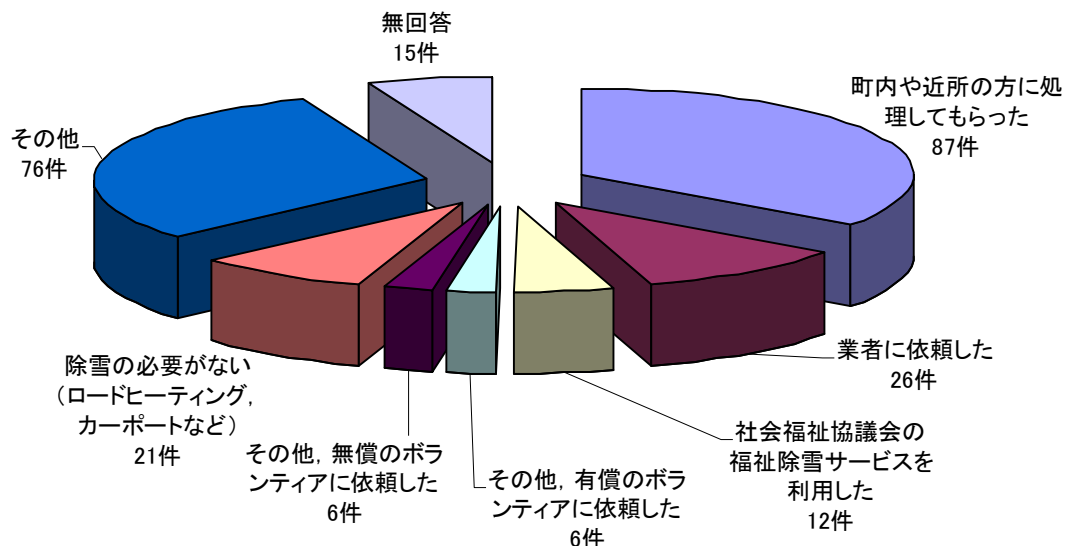
一方で8.3%の対象世帯が否定的な意見を述べている。

- ・顔見知りなので苦情を言いづらい
- ・精神的な負担になる

これらの意見からは、お互い顔見知りであることを忌避する様子が見られる。他の質問でも町内会に対する遠慮と思われる回答が散見された。

地域のつながりを強化するという効果が期待できる一方で、つながりがある地域だからこそ遠慮が存在するという二律背反する考え方が見られ、今後の事業展開を図る上で考慮すべき点であると思われる。

問5 玄関から道路までの除雪



当該事業で除雪を行う道路への出口部分と生活空間である玄関部分との間の除雪について、どのように実施しているかについて問うた質問である。回答は分散しているが、「町内や近所の方に処理してもらった」が最も多く、全体の約3割を占めた。そもそも当該事業が、間口除雪を支援してもらえる地域のみで実施している事業であり、対象世帯にも町内会等で作業をすることを理解してもらっていることから、市内の高齢者の全体像を表しているとはいいがたいが、一定程度地域での相互扶助で生活が支えられていることがわかる。

また、「その他」の76件の回答中の48件は「自分でした」といった回答が自由記載欄に書き込まれていた。この中には他に頼れる人がおらずやむを得ずという世帯もあると思われるが、この事業の対象ではない「残雪の処理が困難」という要件を理解せずに申し込んでいる世帯が一定数含まれていると考えられる。今年度の事業の見直しの中で、80歳未満の要支援1以上の要件が追加されたことで、こうした本来対象外となる世帯が対象となる事を一定程度減らすことが出来ると思われる。